

新潟市の公民館について（令和3年度）

□施設の状況

公民館数 43館

内訳 地区館25館

うち 中央館1館 人事、施設、予算等のとりまとめ → 中央
基幹公民館8館 区で1つ 公民館運営審議会をもつ
→ 豊栄（北区）、中（東区）、中央（中央区）、亀田（江南区）、
新津（秋葉区）、白根（南区）、坂井輪（西区）、巻（西蒲区）
分館 18館

□公民館職員数

職員135人

(内訳：正職員76人 再任用職員13人 会計年度任用職員46人)

□予算

歳入 34,416千円

歳出 313,712千円

主要事業	家庭教育振興事業	9,079千円
	地域コミュニティ活動事業	360千円
	子ども生活体験・ボランティア活動推進事業	1,622千円

□組織目標

市民の生涯にわたる学習活動を支援するために、あらゆる世代が主体的に学習を進められる機会の充実に努めるとともに、現代的・社会的課題に対する市民の意識向上を図り、地域課題の解決と地域活動の活性化を支援します。

※参考

令和2年度実績

事業	主催事業数	454事業
	のべ参加者数	92,588人
貸館	利用団体数	3,039団体
	のべ利用者数	384,307人

公民館の利用状況について (中央・鳥屋野・東地区・関屋分)

(登録団体数)

	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	定期	不定期	定期	不定期	定期	不定期
中央	256	146	270	202	283	198
鳥屋野地区	97	111	99	132	103	133
東地区	79	28	79	37	83	38
関屋地区	75	45	80	53	86	48
合計	837		952		972	
前年比	△115		△20		+1	

(館ごとの稼働率)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
中央	44.3	56.3	59.3
鳥屋野地区	35.5	48.1	50.9
東地区	24.0	31.1	30.8
関屋地区	25.8	40.5	42.0
4館平均 (%)	32.4	44.0	45.8
前年比	△11.6	△1.8	

(サークル利用者数)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
中央	56,463	88,867	96,893
鳥屋野地区	17,112	48,079	51,569
東地区	21,122	32,295	34,285
関屋地区	9,786	29,282	35,771
合計	104,483	198,523	218,518
前年比	△94,040	△19,995	

※昨年度は新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令に伴い、令和2年4月23日から5月17日までの間、新潟市の公民館は全館臨時休館いたしました。再開後は、「新しい生活様式に基づく新潟市社会教育施設等利用ガイドライン」に基づき、施設および利用者の双方が感染予防対策を行いながら運営を行っています。

令和3年度 新潟市公民館事業の基本方針

1 はじめに

新潟市教育委員会は令和2年3月、新潟市教育ビジョン第4期実施計画を策定しました。

この計画では、学・社・民の融合による人づくり・地域づくり・学校づくりを通して、「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育成することが、中心的な考え方として掲げられています。また「学校教育」、「生涯学習」、「教育行政」の各分野の施策が示され、「生涯学習」においては、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」、「多様なニーズに応じた学習機会の充実」、「生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備」の3つに取り組むことがうたわれています。

今日の少子・超高齢化などによる人口構成の変化や人口減少、ICTの発展による高度情報社会の到来、自然災害の多発、さらには地域コミュニティや人間関係の変化に伴い、これからの社会では、地域課題の解決や地域活性化を推し進める人材の育成が重要になってきました。

このような中で、公民館は、地域課題や社会の課題に向き合い、子どもから高齢者まで世代に応じた学びの場を充実させ、その成果を地域で活かすとともに新たなつながりを広げることによって、安心して暮らせる地域づくりを支えていきます。

2 基本方針

(1) 社会の変化や市民の多様なニーズに応じた学習機会の充実

社会状況の激しい変化に対応できるように、子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。

(2) 学・社・民の融合による地域の教育力の向上

学校、家庭、地域そして公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。

(3) 自信をもって自己実現していける市民の育成

人とのかかわりの中で互いに考えを伝え合い合意形成を図るなど学習者の自己肯定感を高めるような学習機会の提供を通して、変化の激しいこれからの社会で自己実現していくことができる力を高めます。

(4) 学びの循環を活かした地域コミュニティの形成・活性化への支援

学びを通して、地域の課題・生活上の課題を把握し、解決に向けて取り組むことで、地域での絆をつくり、コミュニティの形成と活性化に努めます。

3 基本施策

(1) 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援

(2) 家庭における教育力向上の支援

(3) 青少年の生き抜く力を育む機会の充実

(4) 高齢者の学習支援や社会参加の促進

(5) 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

4 事業実施と評価

各公民館は、基本方針を基に地域の実情やニーズにあわせた事業を実施し、事業実施後は、事業の内容や成果について評価を行い、今後の公民館事業の充実を図ります。

令和2年度 公民館事業実施報告

表中の■グレーに着色された行は中止となった事業。■黄色の行は中止事業の代替で行った事業

資料3

基本施策	No.	館名	事業名	事業の目的・主旨	新規/中止/代替	オンライン活用の有無	居場所事業	保育	対象	開設数	回数	実施予定月	時間帯	当初予算額(円)	実績				連携先							備考				
															執行済み額(円)	実施月	参加者数	延参加者数	1.市・区	2.社協	3.学校、コーディネーター	4.コミ協、PTA等	5.活動協力員	6.企画委員・協議会・団体・ボランティア	7.NPO・民間等		主な連携先			
※前ページの続き 6. その他	5	東地区公民館	自主グループ育成事業	公民館利用グループの活動支援					総合(参加者を限定しない)	0	0	4~3月	午前・午後・夜間	0	0			0												
	6	東地区公民館	地域連携講座(中央図書館共催)	沼垂地域の文化、歴史を掘り起こし、地域の活性化を図り、図書資料の利用拡大を図る	中止					成人	1	1	未定	午後	0	0						○				中央図書館 沼垂の今昔を語る会	協力団体の解散により中止			
	7	東地区公民館	長嶺世代間交流(長嶺コミ協共催)	地域における世代間交流を図り、地域の絆を深める	中止					総合(参加者を限定しない)	1	1	9月	午前・午後	0	0						○	○				万代長嶺小学校地域教育コーディネーター・長嶺地域コミュニティ協議会・長嶺ふれあい給食会			
	8	東地区公民館	地域の茶の間たんぼぼ(長嶺コミ協共催)	地域の高齢者同士の交流を図り、地域の絆を深める						総合(参加者を限定しない)	1	7	4月~3月	午前・午後	0	0	7月~3月		150	150					○			長嶺地域コミュニティ協議会	新型コロナウイルスの影響等により4月・5月・6月の実施を中止。	
	9	関屋地区公民館	初級登山教室	安全で楽しい登山のための知識・技能を習得する	中止					成人	1	6	5~6月	午前・午後・夜間	8,000	6,370														
	10	関屋地区公民館	世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との交流を図る	中止					総合(参加者を限定しない)	1	1	9月	午後	11,000	5,548														
	11	関屋地区公民館	ランナーだらけの公民館in関屋	ランニングを趣味としている市民の情報交換の場を設け、コミュニティの形成を図る。成年層の利用促進を図る。	中止					成人	1	5	8月~10月	夜間	0	0														
	11-2	関屋地区公民館	フラワーアレンジメント講座	フラワーアレンジメントの学びを通してステイホーム中の生活を充実させる	代替					総合(参加者を限定しない)	1	1	3月	午前	0	5,200	3月	14	14											
	12	関屋地区公民館	サークル活動体験会	各活動団体の体験会を開催し、新規加入者を募る	中止					成人	1	2	9,11月	午前・午後・夜間	0	0														
	13	関屋地区公民館	文化祭	公民館利用団体が学習の成果を発表するとともに、団体相互の親睦及び地域住民との交流を図る	中止					総合(参加者を限定しない)	1	1	10月	午前・午後	24,000	1,859														
	13-2	関屋地区公民館	ミニギャラリー【代替事業】	公民館利用者が日ごろの学習成果を発表する機会を提供する	代替					成人	1	1	7月~10月		0	0	8~10月	26	26							○		関屋地区公民館利用団体協議会		

中央区内公民館 R2年度事業実施状況（基本施策別）

基本施策	1. 入づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援, 2. 家庭における教育力向上の支援, 3. 青少年の生き抜く力を育む機会の充実, 4. 高齢者の学習支援や社会参加の促進, 5. 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供, 6. その他						合計
	1	2	3	4	5	6	
計画事業数	19	36	36	9	15	15	130
実施事業数	13	26	29	6	7	8	89
中止事業数	6	10	7	3	8	7	41
中止事業の代替事業実施数	0	5	1	0	1	2	9
新規事業実施数	3	1	5	0	1	0	10
オンラインを活用した講座実施数	0	5	0	1	1	0	7
居場所事業実施数	0	13	10	0	0	0	23

令和2年度事業評価シート(中央公民館)

総事業数(29)

1. コミュニティ(5) 2. 家庭教育(14) 3. 青少年(4) 4. 高齢者(2) 5. 現代的課題(3) 6. その他(1)

重点名	1 地域コミュニティ活動の活性化支援事業				2 家庭教育力向上の支援事業				3 青少年の生き抜く力を育む事業				4 高齢者の学習支援や社会参加促進事業							
事業数	5事業 地域・人づくり3, 地域交流2				14事業 家庭教育学級等10, 親子の居場所1, 保育者交流1, 保育者研修1, その他1(子育て出前講座)				4事業 体験活動3, 居場所1				2事業 高齢者支援事業2							
ねらい	・地域コミュニティ協議会等と協働を図りながら、地域の多世代交流を推進し、地域コミュニティの活性化を図る ・地域を知る機会を提供し、地域への愛着や貢献意欲を育むことで、地域活動への参加者(担い手)を増や				・子育てに関する情報や、意見交換等ができる仲間づくりの場を提供することで、子育て中の親が持つ不安や負担感の軽減を図り、子育てにおいて重要な家庭環境の向上を図る。				体験学習を通して、子どもたちの探求心や好奇心を育むほか、異学校異学年交流や地域住民との交流を推進し、社会性を育むことで、たくましく生きていく力を身に付けてもらう。				参加者同士の交流や、健康増進等の学習を通して公民館講座を楽しくむきかけを提供し、高齢者たちが充実した日々生活をおくれるよう支援する。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	1	ゆりかご学級4期	サークル結成数	-	1					
	企画委員希望者数	/	-	ガーデニング(8)	企画委員希望者数	/	16	休日版(2), 父親(8), ひよこ(6)	企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/	-					
	受講者の満足度(平均値)	80%	88%		受講者の満足度(平均値)	80%	100%		受講者の満足度(平均値)	80%	96%		受講者の満足度(平均値)	80%	97%					
	受講者の気づき(平均値)	80%	68%		受講者の気づき(平均値)	80%	92%		受講者の気づき(平均値)	80%	-		受講者の気づき(平均値)	80%	66%					
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/						
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3	多世代交流は、地域・人づくりの基本であり、欠かせない事			必要性(平均値)	4	学校・地域との連携は今後ますます必要性を増す。			必要性(平均値)	3.9	子育てに対する負担感・不安感を軽減する場			必要性(平均値)	4	地域の大人や、異学校・異学年交流の貴重な機会		
	有効性(平均値)	3.4	目に見える効果は示しづらいが、継続することが重要。			有効性(平均値)	4	地域に開かれた学校としていくためには有効な手段			有効性(平均値)	3.1	仲間づくりを通じて、子育て中の親の孤立を防ぐ			有効性(平均値)	4	学外活動を経験することで、社会性を育む		
	効率性(平均値)	3.4	コミ協等との連携により、より多くの人たちを対象とできた。			効率性(平均値)	4	連携することで、単独で実施するよりはるかに対象が広がる			効率性(平均値)	3.7	安全に管理された保育室が、母子分離型学習を支えている			効率性(平均値)	4	企業・ボランティア等の支援を受け、役割分担等が順調		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	地域や学校等との連携により、効率良い多世代交流を行うことが可能となるが、コロナ禍では連携そのものが困難であった。しかし、コロナ禍での講座を実施するための「講座実施基準」を作成したことで、連携が困難な状況は変わらないが、講座等を実施できる環境を整えることができた。				家庭教育学級等の満足度については高い水準で推移しているが、今年度はコロナ対策として、オンライン講座の試験実施に取り組んだ。特に保育付き講座では、コロナ禍では定員の削減など、多くの制約が課せられるため、様々なチャレンジが今後必要となる。				子ども体験は、学校では体験できない異学校異年齢交流を図る貴重な機会であるとともに、社会性を育むために適した事業であることを踏まえた上で、楽しめる企画を常に考えていく必要がある。				高齢者は、オンライン形式への講座参加は困難であるため、飛沫リスク軽減に徹しながら事業を実施。高齢者のオンライン参加は現実的にはハードルがかなり高いため、今後も飛沫対策を十分に考えながらの実施となる見込み。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		4		1		10		2		4				1			1			
	コロナ禍での、連携・共催事業は困難ではあるが、コロナ感染防止対策を示した上で、地域や学校等との連携関係を再構築していくことが重要と考える。				コロナ感染拡大防止のため、保育室の定員を少なく設定することに伴い、受講者定員も減らすことを余儀なくされている。安全に人を集めることと、人を集めなくても受講できる環境づくりの両面を進める必要がある。				本来は、様々な交流をしながらの体験活動を推進していきたいところではあるが、どうしても制約がついて回る状況。その時々状況を踏まえながら、できる範囲のメニューを臨機応変に実施することが必要となる。				公民館事業を通じて、高齢者にもICTを活用した講座等に親しんでもらえるような環境づくりについても考えていく必要がある。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5 現代的課題を探り、解決を支援する事業							
事業数	3事業 社会的課題2、居場所1							
ねらい	現代社会が抱える課題に対し、事業を通じて世代別に働きかけ、学習や交流機会の場を提供することで、生きがいや楽しみを持って、日常を送れるよう支援する。							
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	-	
	企画委員希望者数	/	2	ユース(2)	企画委員希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%	93%		受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気づき(平均値)	80%	66%		受講者の気づき(平均値)	80%		
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3.3	超高齢社会の課題解消として、高齢者への働きかけは重要		必要性(平均値)			
	有効性(平均値)	3.3	高齢者の中でも年齢層が広いのでメニュー設定は要検討		有効性(平均値)			
	効率性(平均値)	4	運営方法など、公民館側には改善の余地がある		効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	どのような課題をどの世代に投げかけるべきか難しいところではあるが、親の介護という喫緊の課題について取り組んだ結果、多くのニーズを感じることができた。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		3						
	超高齢化への取り組みは、様々な視点で企画することができ、今後も継続する必要性は高いと思われる。弱点とも言える若者の公民館講座への参加についても、様々な取り組みを試していきたい。				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

令和2年度事業評価シート(鳥屋野地区公民館)

総事業数(19)

1. コミュニティ(3) 2. 家庭教育(4) 3. 青少年(6) 4. 高齢者(1) 5. 現代的課題(4) 6. その他(1)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 家庭の教育力の向上を支援する事業				3. 青少年の生きる力を育む事業				4. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業			
事業数	3事業 地域福祉1、新潟の食の魅力1、出前講座1				4事業 家庭教育4				6事業 体験活動2、居場所3、映画1				1事業 生きがいづくり1			
ねらい	地域住民の学習・交流や地域と連携した事業を通して、地域コミュニティの活性化・地域課題への取り組み、学社民の融合に寄与する。				家庭教育の実施や居場所の設置により、親同士の仲間づくりを進めるとともに、子育ての不安や悩み等を軽減する。				青少年の生きる力を育むため、青少年の体験活動や異年齢交流等を推進する。小中高生を対象に学校や自宅以外の居場所を提供し、自由な活動や学習のスペースを、安心して享受してもらう。				高齢者の健康寿命の延伸や生きがいづくりを支援する。また、事業を通して仲間づくりを図り、地域活動につなげる。			
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント	
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	各事業とも高い満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	子育てサロン以外で実施。全て100%だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	体験活動・映画上映会で実施し、高い満足度を得られた。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	高い満足度を得られた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	95%	各事業とも高い値だった。	受講者の気づき(平均値)	80%	89%	子育てサロン以外で実施。各事業とも高い値だった。	受講者の気づき(平均値)	80%	86%	体験活動の1講座で実施。	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	気づきの値も高かった。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
	必要性(平均値)	3.7	地域にとって必要な事業となっている。	必要性(平均値)	3.8	育児中の母親の不安解消や情報交換の場として、コロナ下でも受講しやすい形態として実施できた。	必要性(平均値)	3.3	子ども向けに長期休暇に実施する事業は、満足度も高く継続が望ましい。また、居場所事業も多く活用されている。	必要性(平均値)	4.0	高齢者の健康・生きがいづくりは市の重点施策のため、必要度は高い。				
	有効性(平均値)	4.0	コミ協・地域教育コーディネーターなどとの連携を図った。	有効性(平均値)	3.5	オンラインの活用や休館中に地域の体育館を利用するなど、状況に応じて事業を実施した。	有効性(平均値)	2.8	小学生向け学習室の利用が少なく、必要性を検討する必要がある。	有効性(平均値)	4.0	休館の関係で、通常より回数の少ない2回連続の講座であったが、内容を吟味し、有効に実施できた。				
	効率性(平均値)	4.0	他団体・保健センターなどとの連携により、効率的に運営できた。	効率性(平均値)	4.0	効率的に実施できた。	効率性(平均値)	4.0	効率的に実施できた。	効率性(平均値)	4.0	大学の教授から専門的な内容で実施してもらい、有意義だった。				
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	地域の課題や要望などの情報を収集しながら、公民館として支援できることを考えながら、協働して実施していくことが必要である。				保育を行わず、親子一緒に受講してもらったり、オンラインを活用したりと、コロナ下に対応する講座の実施手法とした。今後の講座の実施形態も状況に応じて検討していくことが必要である。				子ども体験事業は申し込みが多くあり、また、満足度も高いため、有効性・効率性を考えながら実施していくことが望ましい。フリースペースは、地域の小中高生の安らげる場所となっており、引き続き周知を図っていくことが必要である。				高齢者の健康づくりや生きがいづくりは、市の重点施策となっており、今後も、他団体などと連携しながら、有効性・効率性を考えながら実施していくことが望ましい。			
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C
		3				4					4	1	1		1	
評価区分	<コメント> さらに地域、他機関・他団体との連携を模索し、地域づくりの一助となる事業となるように努めていきたい。				<コメント> 様々な状況に対応して実施できた。今後も前例踏襲にならず、環境に応じた手法・内容を検討しながら実施していくことが望ましい。				<コメント> 子ども体験事業は、ニーズも大きく、経費を大きくかけずに実施できる事業であり、継続していくことが望ましい。居場所づくりのフリースペースは、地域の小中高生の放課後過ごせる場として有効であり、継続していくことが望ましい。				<コメント> 公民館事業に目を向ける高齢者のニーズに合う事業を、さまざまな情報をとらえながら企画していくことが必要である。			
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 現代的課題を探り、解決を支援する事業							
事業数	4事業	地域学1、コロナ対応1、その他2						
ねらい	地域を知る地域学、コロナ下で必要性が増したスマホ講座など、社会情勢なども考えながら、地域ニーズに応える。							
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	93%	各講座とも高い満足度だった。	受講者の満足度(平均値)			
	受講者の気づき(平均値)	80%	88%	気づきの値も高かった。	受講者の気づき(平均値)			
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4.0	様々な情報を取得しながら、地域ニーズに応える事業として実施できた。		必要性(平均値)			
	有効性(平均値)	3.5	企画委員の参画や地域の携帯ショップの協力により、充実した内容となった。		有効性(平均値)			
	効率性(平均値)	4.0	市職員のOBの活用や無償での携帯ショップの講座などにより、効率的に実施できた。		効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	高齢者の健康づくりや生きがいづくりは、市の重点施策となっており、今後も、他団体などと連携しながら、有効性・効率性を考えながら実施していくことが望ましい。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		3		1				
	<コメント> 地区館として、地域情報を発信するとともに、現代的課題・地域的課題を捉えながら、事業を企画していくことが必要である。。				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

重点名	5. 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習 機会の提供							
事業数	0事業（文化祭・中止）							
ねらい	1. 作品展示、音楽芸能発表、文化講演会で日ごろの公民館活動の成果を発表する							
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル 結成数				サークル 結成数	-	-	
	企画委員 希望者数				企画委員 希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%		
	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)		未実施		必要性(平均値)			
	有効性(平均値)		未実施		有効性(平均値)			
	効率性(平均値)		未実施		効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	コロナ禍により文化祭を協議会と相談して中止にしました。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
	<コメント>				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

令和2年度事業評価シート(関屋地区公民館)

総事業数(27)

1. コミュニティ(4) 2. 家庭教育(3) 3. 青少年(10) 4. 高齢者(1) 5. 現代的課題(4) 6. その他(5)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 家庭の教育力の向上を支援する事業				3. 青少年の生きる力を育む事業				4. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業							
事業数	4事業 地域振興2、児童育成1、子育て1				3事業 家庭教育学級2、居場所1				10事業 体験活動8、居場所2				1事業 高齢者事業1							
ねらい	地域住民、公民館利用団体、学校関係者の方などと連携・協力して、それぞれの役割の中でできることを分担して事業を行うことで、地域住民の交流促進と住み心地のよい地域づくりに貢献する。				家庭教育の自主性を尊重しながら、学習の機会、情報、交流の場を提供することで、家庭教育を支援する。				青少年の活動体験や、異年齢交流などにより、青少年や子どもの健全育成を図る。				高齢者の交流促進を図るとともに、講座の実施により生きがいづくりや社会参加を支援する。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	-	-		サークル結成数	1	1		サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	-					
	企画委員希望者数	/	10	「おも知る関屋学」の企画委員は館外で活動を行った	企画委員希望者数	/	1	特になし	企画委員希望者数	/	8	多くの方から講座への支援を頂けた	企画委員希望者数	/	0					
	受講者の満足度(平均値)	80%	-	コロナ等による休止でアンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	乳児期、幼児期とも高い評価を頂けた	受講者の満足度(平均値)	80%	98%	体験型の講座で高い評価を頂いた	受講者の満足度(平均値)	80%	-	コロナ等による休止でアンケート未実施				
	受講者の気づき(平均値)	80%	-	コロナ等による休止でアンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	乳児期、幼児期とも目標を達成できた	受講者の気づき(平均値)	80%	98%	体験型の講座で高い評価を頂いた	受講者の気づき(平均値)	80%	-	コロナ等による休止でアンケート未実施				
その他成果(品)及びその活用等	/	館外で講演会を企画	関係者の活動継続が図られるとともに、次年度の活動につながる取り組みとなった	その他成果(品)及びその活用等	/	自主活動グループの結成	地域と連携して自主活動グループを支援していきたい	その他成果(品)及びその活用等	/	公民館利用者以外の委員参加	市職員の視点とは異なる考え方で講座を開催できた	その他成果(品)及びその活用等	/							
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	地域の実情を知り、その活性化に不可欠な事業となっている。			必要性(平均値)	4	子育てに必要な知識取得、情報共有の場として再認識、			必要性(平均値)	4	家庭や学校では経験できない講座で、子どもの健全育成が図れた			必要性(平均値)	4	例年、定員を超える申し込みがあり、ニーズは高い		
	有効性(平均値)	4	地域連携、相互理解が深まり、人材育成にも役立っている			有効性(平均値)	4	自主活動グループの結成			有効性(平均値)	4	自分が属する学校の枠を超え、他年代との交流を体験できた			有効性(平均値)	-	コロナ等による休止で評価しない		
	効率性(平均値)	3	館内での活動でなかったことから、中間的評価とする			効率性(平均値)	4	市職員等の活用により効率性に努めた			効率性(平均値)	4	ボランティアの発掘により、効率な運営を図った			効率性(平均値)	-	コロナ等による休止で評価しない		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	「おも知る関屋学」をはじめとして、地域の方の好評を得ているため、感染症にまけないよう各講座に取り組んでいきたい。				自主活動グループが結成されても、時間の経過とともに活動が落ちてくるケースもみられ、その支援が課題				体験活動では、支援団体との連携が重要であり、今年度の反省点を踏まえながら、より良い事業を展開していきたい。				ニーズの高い講座であることから、予算がない中でも工夫しながら継続したい							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		4				3				10				1						
評価区分	<コメント> 地域の絆、愛着を深めることに役立っている。これからも地域コミュニティ活動の活性化に取り組んでいきたい。				<コメント> 感染症対策で保育等の難しさはあるが、対面での、乳児期、幼児期の家庭教育への支援は必要。今後も改善しながら継続したい				<コメント> 様々な体験をとおして、他校、他学年と交流できる場であり、感染症対策を行ったうえで子どもの健全育成に必要な事業				<コメント> 地域の人が講座を楽しみにしているのが伝わってくる。予算がない中でも工夫をして継続して行きたい							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 現代的課題を探り、解決を支援する事業							
事業数	4事業 世代間交流1、教養講座3							
ねらい	企画委員、地域住民とともに現代的課題を考えそのテーマに沿った講演会、学習会を開催することにより現代的課題の解決を図る。							
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	-	
	企画委員希望者数	/	14	企画委員を中心に講座の開催を議論した。	企画委員希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%	-	コロナ等による休止でアンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気づき(平均値)	80%	-	コロナ等による休止でアンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%		
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	様々な地域課題を多くの人に理解してもらうために必要な事業		必要性(平均値)			
	有効性(平均値)	-	コロナ等による休止で評価しない		有効性(平均値)			
	効率性(平均値)	-	コロナ等による休止で評価しない		効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	企画運営体制が硬直化している部分もあるため、その修正を図りたい							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		4						
	<コメント> 次年度は、感染症対策に配慮したうえで、活動協力員、ボランティア等の力を借りて、講座を提供したい。				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

資料 4

令和3年度公民館の主な予算について
(中央・鳥屋野・東地区・関屋分)

(歳入)

(単位 円)

名称	本年度予算	前年度予算
公民館使用料 サークルなどの貸館による使用料	9,064,000 【内訳】 中央 4,515,000 鳥屋野 1,616,000 東 1,552,000 関屋 1,381,000	9,134,000 【内訳】 中央 4,581,000 鳥屋野 1,583,000 東 1,572,000 関屋 1,398,000
建物貸付料 自動販売機設置業者からの賃料	274,000	320,000
教育費雑入 コピー機の利用料など	467,000	875,000

(歳出)

(単位 円)

名称	本年度予算	前年度予算
地域コミュニティ活動活性化支援事業 地域コミュニティ活動の活性化を支援するために、コミュニティ協議会等の地域団体と連携しながら、地域課題解決のために必要な事業を実施するとともに、地域活動を担う人材の育成を支援する。また、地域課題に取り組む人材や団体のつなぎ役となるコミュニティコーディネーターの育成講座を実施する。	0	263,000 【内訳】 中央 74,000 鳥屋野 53,000 東 44,000 関屋 92,000

名称	本年度予算	前年度予算
<p>家庭教育振興事業</p> <p>子育て期の親等に子育てに関する学習機会を提供し、親同士の仲間づくりを推進するために、出産前から思春期までの家庭教育学級を開催するとともに、子育てに関する情報交換の場の設置など、子育て支援事業を実施することにより、家庭の教育力向上を図る。</p>	<p>3,224,000</p> <p>【内訳】</p> <p>中央 2,434,000 鳥屋野 216,000 東 322,000 関屋 252,000</p>	<p>3,491,000</p> <p>【内訳】</p> <p>中央 2,569,000 鳥屋野 377,000 東 306,000 関屋 239,000</p>
<p>公民館事業</p> <p>生涯学習社会にふさわしいひとづくり、地域づくりを目指し、市民の学習活動を支援する。</p>	<p>825,000</p> <p>【内訳】</p> <p>中央 262,000 鳥屋野 165,000 東 191,000 関屋 207,000</p>	<p>680,000</p> <p>【内訳】</p> <p>中央 213,000 鳥屋野 182,000 東 143,000 関屋 142,000</p>
<p>子ども体験活動・ボランティア活動推進事業</p> <p>土日や長期休業期間に子どもたちに様々な野外活動やものづくり等の体験型事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<p>174,000</p> <p>【内訳】</p> <p>中央 72,000 鳥屋野 21,000 東 18,000 関屋 63,000</p>	<p>271,000</p> <p>【内訳】</p> <p>中央 141,000 鳥屋野 27,000 東 39,000 関屋 64,000</p>
<p>施設の管理運営費</p> <p>公民館施設の修繕や清掃・警備などの委託契約、物品購入などに係る経費。</p> <p>※中央公民館（クロスパル）の維持管理費の大半は、生涯学習センター予算で別に賄っています。</p>	<p>22,465,000</p> <p>【内訳】</p> <p>中央 1,551,000 鳥屋野・東・関屋 20,914,000</p>	<p>23,623,000</p> <p>【内訳】</p> <p>中央 1,770,000 鳥屋野・東・関屋 21,853,000</p>

令和3年度 事業計画・実施報告(7月末実績)

表中の■グレーに着色された行は中止となった事業。

資料5

基本施策	No.	館名	事業名	事業の目的・主旨	新規/中止/代替	オンライン活用の有無	居場所事業	保育	対象	開設数	回数	実施予定月	時間帯	当初予算額(円)	実績				連携先							備考
															執行済み額	実施月	参加者数	延参加者数	1.市・区	2.社協	3.学校、コーディネート	4.コミ協・PTA等	5.活動協力員	6.企画委員・協議会・団体・ボランティア	7.NPO・民間等	
※全ページの続き 1. 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援	17	4.関屋地区公民館	森のコンサート	地域の中で音楽とおして交流する。					総合(参加者を限定しない)	1	1	9月	午前	14,000							○	○	○	念仏寺、利用団体、関屋中学校		
	18	4.関屋地区公民館	お寺でゴーン	地域と連携し、子どもの社会性を養う。(ご住職のお話、レクリエーションなど)					少年	未定	未定	f	午後	14,000							○	○	○	念仏寺、浜浦小コミ協		
	19	4.関屋地区公民館	あかちゃんお誕生おめでとう	地域で安心して子育てできる環境と若い世代が地域活動に参加できる環境をつくる。					成人	1	2	5・10月	午前	10,000	5月	10	10	○	○		○			浜浦民児協		
	20	4.関屋地区公民館	世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との世代を超えた交流を図る。	中止				総合(参加者を限定しない)				9月		11,000											
	21	4.関屋地区公民館	ランナーだらけの公民館 in関屋	ランニングを趣味としている市民の情報交換の場を設け、コミュニティの形成と成年層の利用促進を図る。	新規				成人	1	4	10月	夜間	0												
2. 家庭における教育力向上の支援	1	1.中央公民館	プレママ学校 (いのちの授業)	5年生の理科の単元である「生命の誕生」の学習を深めるために助産師から命の大切さについて学ぶ					成人	1				7,600							○	○	○	新潟小学校		
	2	1.中央公民館	プレママ学校 (同窓会)	昨年度のプレママ学校受講者による、同窓会を兼ねたオンライン講座		オンライン			成人	1	1	5月	午前	7,600	7,600	5月	4	4				○	○			
	3	1.中央公民館	プレママ学校 (オンライン講座)	妊娠中の親が安心して子育てできるように、学習機会を設けるとともに、仲間づくりを進める (オンライン1回含む)		オンライン			成人	1	3	9月、1月	午前	22,800							○	○				
	4	1.中央公民館	乳児期家庭教育学級 (ゆりかご) 2期	核家族・少子化などの現代社会において、孤立した子育てをしている親に仲間づくりの機会を提供し、親として必要な知識を学ぶ場とする。					保育	成人	1	5	6~7月	午前	145,000	119,255	6~7月	11	52	○					中央地域保健福祉センター	
	5	1.中央公民館	乳児期家庭教育学級 (ばんざん学級)	核家族・少子化などの現代社会において、孤立した子育てをしている親に仲間づくりの機会を提供し、親として必要な知識を学ぶ場とする。	新規				保育	成人	1	4	7~8月	午前	0						○				中央地域保健福祉センター	
	6	1.中央公民館	乳児期家庭教育学級 (ゆりかご) 4期	核家族・少子化などの現代社会において、孤立した子育てをしている親に仲間づくりの機会を提供し、親として必要な知識を学ぶ。					保育	成人	1	5	1~2月	午前	159,000						○				中央地域保健福祉センター	
	7	1.中央公民館	乳幼児期家庭教育学級休日版	平日講座に参加できない幼児期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育について学び合う機会を提供する					保育	成人	1	2	9月	午前	67,000						○	○				
	8	1.中央公民館	児童期家庭教育学級 (ペアレントプログラム)	児童期の保護者を対象にペアレントプログラムの手法を使って行動から子どもの関わり方を学ぶ	新規				成人	1	7	5~10月	午前	10,000		5~7月	6	29							新潟市発達障がい支援センター「JOINE」	
	9	1.中央公民館	父親学級	小学生期の児童の父親を対象に、家庭教育について学び合う機会を提供する					成人	1			8~10月		142,000						○					
	10	1.中央公民館	パパサロン	乳幼児期の子どもを持つ父親を対象に、家庭教育について学び合う機会を提供する	新規				保育	成人			9~12月		59,000						○	○				

令和3年度 事業計画・実施報告(7月末実績)

表中の■グレーに着色された行は中止となった事業。

資料5

基本施策	No.	館名	事業名	事業の目的・主旨	新規/中止/代替	オンライン活用の有無	居場所事業	保育	対象	開設数	回数	実施予定月	時間帯	当初予算額(円)	実績				連携先							備考	
															執行済み額	実施月	参加者数	延参加者数	1.市・区	2.社協	3.学校、コーディネーター	4.コミ協・PTA等	5.活動協力員	6.企画委員・協議会・団体・ボランティア	7.NPO・民間等		主な連携先
5. 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供	1	1.中央公民館	文化祭	中央公民館を定期的に利用して学習する団体の学習成果発表及び団体相互の交流を図る。					総合(参加者を限定しない)	1	1	10月	午前・午後	5,000					○						使用団体連絡協議会、利用団体、生涯学習センター、新潟市国際交流協会、礎コミ協	中央公民館文化祭実行委員会	
	2	1.中央公民館	湊地区コミュニティ活性化支援事業	地域コミュニティ活動活性化支援の一環とする。超高齢化社会となっている地域の実情を考慮し、地域の課題解決のための講座を開催する。					成人	1	1	3月	午後	11,000					○						湊地区コミ協共催		
	3	1.中央公民館	コロナに負けない！ピンチをチャンスに変える趣味講座	自宅で過ごす時間が増えた今だからこそできる趣味の幅を広げるための機会を提供する。コロナ終息後の公民館利用につなげる。					成人			未定			16,000												
	4	1.中央公民館	高齢者課題解決事業	高齢者が抱える課題を解決する	新規				高齢者			10~11月	午前	41,000							○						
	5	1.中央公民館	若者向け事業	20代30代対象の事業を実施することで、若者が公民館や生涯教育と出会うきっかけづくりや交流・学びの場を提供する					青年			未定			27,000												
	6	1.中央公民館	公民館「よのなか科」	地域課題や世の中の気になること知りたいことを幅広く学び地域交流を図る	新規				成人			未定			22,000						○						
	7	2.鳥屋野地区公民館	「とやの地域学」講座	地域の歴史や昔の人々の暮らしぶり、生活文化などさまざまな角度から地域について学ぶ					総合(参加者を限定しない)	1	3	9~10月	午後	23,000								○					
	8	2.鳥屋野地区公民館	とやの映画館	名作映画の上映を通じて、生涯学習の機会を広げるとともに住民のニーズに応える					総合(参加者を限定しない)	4	4	5・8・11・2月	午後	0								○					
	9	2.鳥屋野地区公民館	鳥屋野潟の自然を楽しむ	新潟市の宝である、市街地に隣接し、豊かな自然が残る鳥屋野潟の生物について学ぶ					総合(参加者を限定しない)	2	2	6・9月	午前・夜間	16,000							○						
	10	2.鳥屋野地区公民館	世代ごとに考える生活設計(マネープラン)	各世代の生活設計に合わせたマネープランについて考える	新規・中止				成人	1	3	5~6月	午後	0													
	11	2.鳥屋野地区公民館	とやのレコードコンサート	参加者の音楽や芸能への関心を広げ、生涯学習への関心を広げる。					総合(参加者を限定しない)	2	2	6・10月	午後	0													
	12	2.鳥屋野地区公民館	ウォーキング塾	生活習慣病の予防にも役立つウォーキングを行うために、正しい歩き方を知り実際に鳥屋野潟公園を歩く。	新規				成人	1	2	10月	午前	0							○						
	13	2.鳥屋野地区公民館	文化祭	美術文芸・音楽芸能・交歓の広場・お茶席など各サークルの発表の場	中止				総合(参加者を限定しない)	1		10月	午前・午後									○			利用団体連絡協議会と共催		
	14	3.東地区公民館	地域学振興事業	地域の歴史・文化を学ぶ					成人	1	1	11月			18,000												
	15	3.東地区公民館	文化祭	作品展示、音楽芸能発表、文化講演会	中止				総合(参加者を限定しない)	1		10~11月			3,000							○	○		東地区公民館利用団体連絡協議会	新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止	
	16	4.関屋地区公民館	囲碁入門教室	小学生から大人まで、囲碁をとおして交流する。					総合(参加者を限定しない)	1	18	5月~3月	午前	5,000		5月~7月	16	74				○		利用団体			

中央区内公民館 R3年度事業計画および事業実施状況（7月末現在）

実施状況\基本施策	1. 入づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援、2. 家庭における教育力向上の支援、3. 青少年の生き抜く力を育む機会の充実、4. 高齢者の学習支援や社会参加の促進、5. 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供、6. その他						合計
	1	2	3	4	5	6	
計画事業数	21	31	32	8	19	7	118
実施事業数（7月末現在・実施中含）	5	11	10	1	1	1	29
中止事業数	2	0	0	0	3	0	5
中止事業の代替事業実施数	0	0	0	0	0	0	0
新規事業実施数	1	5	1	1	3	1	12
オンラインを活用した講座実施数	0	5	0	0	0	0	5
居場所事業実施数	0	3	10	0	0	0	13